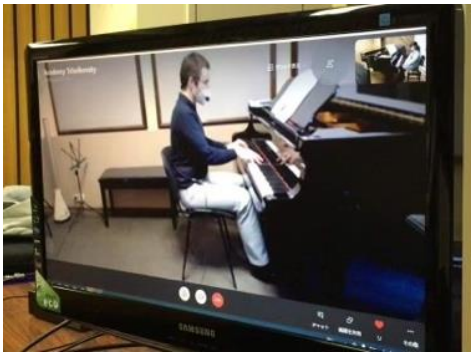
日本初　モスクワ音楽院との「DK リモート・レッスン」が本格始動！

～コロナ禍の中での音楽学部学生と大学の新たな挑戦～



くらしき作陽大学音楽学部「モスクワ音楽院特別演奏コース」では、本年４月からモスクワ音楽院と本学間を結ぶ DK リモート・レッスン(*1)によるピアノ実技授業を開始しました。

[*1]DK リモート・レッスンとは、ヤマハ社製のディスクラビア（DK）（自動演奏他の多機能を備えたピアノ）同士をインターネット回線で結び、双方のピアノの奏者がリアルタイムで演奏やレッスンを行うことができるシステム。音自体が外部のスピーカーからではなく、実際のピアノから発生するため、通常のレッスンと同様の「生の音」を体感することができる。ピアノ音源以外の教師の指導（映像＋音声）は「Skype」「Zoom」等を利用。モスクワ音楽院では、モスクワと地方の音楽学校との間で、本システムを利用した実証実験を行っている（実際の DK リモート・レッスンの動画はＱＲコードからご参照ください）

本学では、2000 年にロシア国立モスクワ音楽院との文化交流協定に基づき、世界で初めて音楽院の教育プログラムを導入した「モスクワ音楽院特別演奏コース」を開講。以来 20 年間、モスクワ音楽院の教授が来日し、実技や理論等の授業を行ってきました。本コースを卒業した学生の２～３名は毎年モスクワ音楽院に留学しています。

ところが、コロナ禍による入国規制により昨年４月からロシア人教師が来日できず、実技授業も「Skype」「Zoom」によるリモート・レッスンで実施されました。しかし１対１の対面レッスンに慣れ、音に敏感な音楽学部の学生にとっては、上位機種の PC 並びに高機能のヘッドフォンや外部スピーカー等を利用しても、やはり満足できる内容ではありませんでした。

このため、本学ではすでにロシア国内では実績のある DK リモート・レッスンの導入をモスクワ音楽院と調整し、さらにはヤマハ株式会社並びに菅波楽器株式会社の全面的な協力をいただくことで、昨年 10 月から本学とモスクワとの間で試験運用を開始しました。

試験運用は、ロシア人教師と学生も参加した日露双方の専門チームにより、両国の時差や授業時間帯によるネット回線の状況テストをはじめ、具体的なレッスン方法と内容、そして技術テストを６ヶ月にわたり実施。最終的にテストに参加した学生たちから「オンラインなのに、生のグランドピアノの音がいつも通りに聴けることに驚いた」「私が弾く楽器から、先生が弾いた音が鳴るのに、音色が違う！」「先生が横にいるようだ」などの高評価を得たことから、本年４月から本格的にこの「DK リモート・レッスン」をスタート。現在は週に 17 時間程度の授業を行っています。

幸い昨年 9 月からは、一定の条件での外国人の入国制限が解除されロシア人教師も訪日が可能になり、新学期からはドミトリー・リュトコフ先生の対面授業も行っておりますが、感染状況の動向、日露間の不安定な航空便、事前の複雑な PCR 検査、羽田空港からの公共交通機関の使用不可により、特定ハイヤー業者によって 9 時間をかけて倉敷までお越しいただくという状況の中では全面的な対面授業の再開は見通せません。

また昨年 11 月に開催予定であったモスクワ音楽院との提携２０周年を記念した特別演奏会として、本学の研究生だったピアニスト・牛田智大氏[*2]（2013 年から 2018 年の 5 年間、倉敷市に在住して本学に通学）と同氏の恩師であるモスクワ音楽院の教授陣よる連続演奏会をはじめ、音楽学部の学生にとっては一番重要である発表演奏会も縮小・中止しました。さらにはモスクワ音楽院への現地留学についても日露両国の渡航制限等により不透明感は拭えません。（昨年 3 月に卒業した学生 2 名は教授推薦により授業料免除の特待生として 9 月に研究科に入学しましたが、渡航規制等により、現在も日本で音楽院のオンライン・レッスンを受講しております。）

コロナ禍を契機に「新しい学び」を考える。現在の学習状況からの質的転換を図る一つの取り組みとして、本学では「DK リモート・レッスン」を軸に「対面授業」の代わりの「リモート・レッスン」という発想から、「対面とリモート」の効果的な融合を目指した「ハイブリッド授業」を学生と共に作り上げていく方向にカリキュラムをシフトさせています。一例としては、ディスクラビアの多機能性能を利用し、これまでの対面授業では得られなかった新たなメソッドの開発。（レッスン自体を iPhone 等に高音質で録音した映像をリアルタイムでダウンロードして、学生が授業後にすぐに復習できるなど）さらには「DK リモート・レッスン」を 1 対 1 のレッスンから、1 対多によるアンサンブル授業への活用。本学の学生と音楽院のオーケストラとのリモート・コンチェルトの実現。指導教授と学生による DK を通じたクラスコンサートの定期開催とこうしたコンテンツを利用した ＳＮＳ チャネルの開設などを検討中です。またコロナ禍によってモスクワ音楽院でも実施されている学生用のリモート・レッスン・プログラムを本学生も利用できるシステムを構築中です。

くらしき作陽大学では、現在のコロナ禍でもめげることなく、世界で活躍することを目指して日々研鑽を積んでいる学生・卒業生を今後も応援してゆく所存です。皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

以上

■[*1] ディスクラビアの詳細についてはヤマハ株式会社（https://jp.yamaha.com/）のディスクラビア製品情報をご覧ください（https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/pianos/disklavier/index.html）

■[*2]ピアニスト・牛田智大氏については所属レコード会社であるユニバーサル・ミュージック・ジャパンの公式ホームページをご覧ください（https://www.universal-music.co.jp/ushida-tomoharu/）

■本学「大学院」1 年河野愛里さんが 2021 年 3 月 5 日― 3 月 28 日にモスクワで開催された「第 2 回 D-Competition 国際コンクール」に ＤＫ リモート・レッスンで参加し、1 位に輝きました。